

流山グリーンフェスティバル・イベント

エド・アド社員がMCで活躍

5月4日みどりの日、流山おたか森駅南口都市広場で、流山グリーンフェスティバルが開催された。前日までは雨の予報

だったが、当日は会場を太陽が強く照らすなか、様々なイベントが繰り広げられ、江戸川大学の仮想広告会社「エド・アド」

社員たちも運営に協力した。ここでは、イベントMCを担当した社員の活躍をレポートする。(撮影・取材・文: 渡邊健介)



左: 左から谷島さん、倉金さん、稲葉さん。中: 流山市立おたかの森中学校の吹奏楽部を紹介する3人。右: ドッグ・ファッションショーに備えて綿密な打ち合わせ。

広場に設置されたステージの司会進行を担当したのは、江戸川大学の仮想広告会社「エド・アド」社員の谷島佑果さん(メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科3年生)、映像放送研究部の倉金悠花さん(同学科3年生)と稲葉帆香さん(同学科2年生)だ。

谷島さんは高校時代に放送部に所属していて、NHK全国高校放送コンテストや高等学校文化連盟放送コンテストのアナウンス部門に出場したほか、学校行事の司会を担当した経験を持つ。そうした経験から昨年に引き続きステージの司会を担当することになった。

3人は事前に渡された台本をもとに大学内で打ち合わせを行った。当日は9時に集合し、台本の最終確認を行った。

10時から開会式が始まった。流山市長と流山グリーンフェスティバル実行委員長挨拶の後、流山市立おたかの森中学校の吹奏楽部の演奏が行われた。3人のMCで、イベントは順調に進んだ。司会の3人は緊張

したそぶりを見せず、笑顔で明るくショーを進行させた。まるでプロのアナウンサーのようだった。

11時30分頃からドッグ・ファッションショーのリハールが1時間ほど行われた。台本をもとに、出場・欠場の確認、そして間違いがないようにワンちゃんの名前を一致させる確認を行った後、実際にMCが台本を読みステージにあがるタイミングなど動きの確認を行った。

短い時間で昼食をとり、13時30分からは、今回で8回目を迎えたドッグ・ファッションショーの本番が行われた。

司会は3人が交代で、バック・ステージからワンちゃんと飼い主さんを紹介した後、ファッションポイントの説明した。ステージ上では流山おたかの森S・Cの「ペットパラダイスデラックス」のスタッフが飼い主さんにワンちゃんの特徴などを尋ね紹介した。

今年は10組18匹のワンちゃんと飼い主が参加し、キャバリア、トイプードル、柴犬などの様々な犬種が登場した。

ワンちゃんは、浴衣や海柄ワンピースなど、夏らしいさをイメージしたデザインの服を着て、会場にいる人の注目を集めた。

始まる前から満席で、周りには立ち見の人でも多かった。一つの組が終わるごとに、子どもたちから可愛いという声や、観客から拍手が沸き、盛り上がった。

谷島さんは、「参加する前は、自分以外の2人が初参加のため、うまく連携できるか心配だった。実際にやってみて、2人がとても明るくハキハキといたので、自分も明るく楽しくMCができた。セリフを噛んだところもあったが、滞りなく進められた。流山を代表するイベントにMCとして参加でき、栄光に思う」と話した。



インタビュに答えてくれた今田さんと3匹の愛犬たち。

